樹園地における農村環境保全活動

日下部（やまなし）地域環境保全委員会（山梨県山梨市）

○　日下部地区は、山梨市の中でもJRや国道・県道等の主要交通機関の沿線に位置し、商業地や住宅地の周辺に農用地が混在している地域である。

○　地域の耕地の9割程度が果樹園で、ぶどう、桃、柿等が栽培されているが、高齢化の進行によって離農が進んでおり、地域の共同活動への参加者が減少傾向にあった。

○　地域の水路は自然石の空石積みが多いことから、これを活用した生態系配慮区域を設定しホタルの生息環境保護活動を実施するなど、地域の環境向上を図っている。

【地区概要】
- 取組面積　30ha　（畑30ha）
- 資源量　開水路4.0km、農道3.0km
- 主な構成員　農業者、非農業者
- 交付金　約1百万円（H29）

（農地維持支払
資源向上支払（共同））

地域の状況

樹園地に隣接する水路の様子

○　昭和30年代まで水稲と麦の二毛作地帯であったが、その頃の農地がそのまま果樹主体の営農に変化していったため、農地の区画形状は不揃いで、農道は曲がりくねって幅員は狭い。水路は自然石の空石積みが多い。

○　水路や農道の草刈り、泥上げは、農地・水保全管理支払交付金に取り組む以前から地域の共同活動として定着しており、農家・非農家を問わず水利組合費が徴収されていたが、高齢化や離農の進行に伴い、活動への参加者の減少が問題となっていた。

取組内容

自然石の
空石積み水路
と道路の補修

ホタル水路の
維持管理

地区内の水路は、昔からの用排兼用水路で、空石積み水路が多いことから、この水路を活用し、深みやよどみを設けるなどホタルの生息に適した状態に維持する取組を行っている。

今後の課題

○　山梨市では全耕地の15%が耕作放棄されており、本地域でも高齢化や離農の進行により耕作放棄が増加している。

○　果樹は水田作等に比べて作物転換が困難であることから、営農放棄された農地では、果樹がそのまま放置されている場合が多い。

○　今後も増加し続ける耕作放棄地の防止等の課題に対応するため、本交付金を活用した前述の取組を実施することとしている。

大学や企業、NPO法人等との多様な主体の参加

平地農業地域

浮島地区農地・水・環境保全管理協定（静岡県沼津市）

○ 本地域は、希少な湿原植物が生育し、「静岡県版レッドデータブック2004」では、“今守りたい大切な自然”の1つに挙げられているが、遊休農地の有害植物の繁茂や、工事残土の不法投棄で、地区目標の「住んでよかった浮島・住みたい浮島」に向け、環境や農地の保全が必要となっていた。

○ NPO法人と連携し、遊休農地や不法投棄場所にひまわりを植栽し、開花時期には、ひまわり祭りを開催している。また、中日本高速道路（株）と連携し、ヨシの刈り取りなどを実施。

○ これにより、遊休農地2,000m²の解消や、地域の子どもに環境教育の機会を提供する他、都市住民との交流や、高速道路SAでの農産物の直売などに発展している。

【地区概要】
- 取組面積：85ha （田74ha、畑11ha）
- 資源量　水路15.2km、農道16.2km
- 主な構成員
  農業者、非農業者等
- 交付金　約7百万円（H29）

（農地維持支払
資源向上支払（共同、長寿命化））

活動開始前の状況や課題

○ 希少な湿原植物が生育し、「静岡県版レッドデータブック2004」では、“今守りたい大切な自然”の1つに挙げられている。

○ 農業者の減少・高齢化により遊休農地が発生し、希少種を脅かす有害植物が繁茂。また、工事残土の不法投棄などで、地区の環境悪化が懸念。

○ 地区目標に掲げている「住んでよかった浮島・住みたい浮島」に向け、環境や農地の保全が必要。

浮島沼の景観

取組内容

○ NPO法人と連携し、景観向上・環境保全活動を実施。
- 景観向上活動として、遊休農地や残土の不法投棄場所に、地域住民等とともに1万5千本のひまわりを植栽。**「浮島ひまわりらんど」**として造成。

・古城祉内の湧水を活用したイベントを開催し、水源確保などの環境教育の場を提供している。

○ 県の行う「一社一村しずおか運動」により、中日本高速道路（株）とともに、「ヨシの刈り取り」等の交流イベントを実施。

浮島ひまわりらんど

企業と連携したヨシの刈り取り

効果、課題、今後の展開

○ NPO法人との連携
「浮島ひまわりらんど」の造成により、以下の効果が発現している。
- 遊休農地3,000m²を解消。
- ひまわりのフォトコンテストを開催し、市内外から約700人/年が来場。
- 地元農産物の販売と組み合わせ、地区外の住民との交流イベントとして発展。

○ 中日本高速道路（株）との連携
- 「稲刈り体験」などに、毎年、社員や親子など都市住民30人程度が参加。
- 共同活動をきっかけに、高速道路SAでの地元農産物の直売を行うようになった。